

非溶接のサッシ工事

R C マンションで受注拡大

YKK A P 大和ハウス工業から10件以上獲得



躯体にピンを打ち込んで窓側部品を取り付け、
高強度樹脂材を充てんして固定

接合するYKK A Pが開
発した非溶接工法による
サッシ工事が、大和ハウ
ス工業が開発する西日本
のRC造賃貸マンション
で多く採用されている。
火を使用しない点が高く
評価され、11年度以降、
大和ハウスのRC造賃貸
マンション「Dーroo

m」で既に10件以上の工
事を受注した。YKK A
Pは今後、マンションデ
ベロッパーへの同工法の
営業を強化。中低層マン
ションに導入している同
工法を、高層物件にも適
用できるよう技術開発を
進める。
同工法はRC造建築物

向けに開発。サッシ枠の
位置を決めて躯体に打鉋
(びょう)ピンを打ち込
んで枠側部品を取り付
け、そこに高強度樹脂材
を充てんして躯体に固定
する。溶接と違い、施工
中火災発生リスクや、サ
ッシのガラスを損傷する
リスクがなく、雨天時も
施工できる。

施工技術も溶接工法よ
り習得しやすく、入職者
が減り高齢化が進むサッ
シ職人の人材確保にも貢
献できるという。施工コ
スト面でも溶接と同程度
を実現した。

YKK A Pは4日、大
和ハウス工業が大阪市
中央区で施工中の賃貸マン
ションで、非溶接工法に
よる施工の様子を報道機
関に公開した。浅井知典
所長は同工法について
「現場で火と煙が発生し
ないため、現場の安全性

を確保できることが大き
なメリット。作業員の健
康も確保できる」と評価
した。

サッシ据え付け工事を
行う井町鋼業（大阪府寝

屋川市）の井町直孝氏は
「溶接しないので、ガラ
スを損傷する心配がない
のはいい。やけどもなく
なった」と話していた。